

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和2年9月発行

広尾っ子応援団だより (No.28)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



重点教材の授業紹介

各学校は、学校運営協議会で承認された教育課程を確実に実施するため、重点教材を定めて実践しています。

2桁のたし算（広尾小2年算数）

授業者 宮下先生、土井先生

課題は、1の位、10の位のどちらにも繰り上がりがある2桁の筆算を確実にできるようにすることです。

これまで身に付けた1桁や2桁の基本的な計算の方法を基にして、今日の課題を自力で解決します。



信頼、友情（広尾小3年道徳）

授業者 川村先生、岡部先生、大前先生

運動会の二人三脚の組を決める時、「（走るが遅い）あいちゃんと組んだら嫌だなあ」と思ったちえですが、本番ではあいのかけ声のおかげで1番になります。

この話を讀んだあと、「友だちと信頼し合うことの大切さ」を話合います。



【解説】道徳科の授業

子どもたちは、学校や家庭、地域社会で体験的に道徳を学んでいます。その体験を基礎に、上記の「信頼・友情」などの意味や大切さを追究していくのが「道徳科の授業」です。したがって、家庭や地域社会で体験したことや、そこにいた大人の振る舞いなどが、子どもの発言を通して授業に投影され、学びの質に影響していきます。

3年生では、「信頼・友情」を含め20の内容が、年間35時間の中で扱われます。

今後1年間の取組を協議 広尾っ子応援団本部会議

9月28日（月）、広尾っ子応援団本部会議が開催される予定です。

会議では、令和2年度の重点教育目標など各コミュニティ・スクールの現状について確認したあと、応援団登録の促進などについて、今後1年間の取組の方向性を協議することになっています。

【取組の方向性】

1. 各学校運営協議会の「地域・家庭の方策」に、可能な協力・支援を行う。
2. 学校の「支援要望」については、学校運営協議会で承認した教育課程に関連する内容に重点化して対応する。
3. 広尾町商工会との連携や広尾高校卒業生への啓発など応援団登録を一層促進する。
4. 情報発信を充実する観点から「放課後読書等ふれあい広場」の運営を改善する。
5. コミュニティ・スクールの現状を診断するための町民アンケートを実施する。

●広尾高校CSを含めた協働活動を展開

本年度、北海道教育委員会は広尾高校をコミュニティ・スクールに指定しました。

新型コロナウイルスの対応のため、予定していた第1回学校運営協議会は中止になりましたが、9月30日（水）に第2回会議を開催し、本格的にスタートさせます。

このことを受け、広尾っ子応援団事務局では広尾高校と協議を行い、今後、同校を含めて協働活動を展開していくことにしています。

具体的には、上記1～5について、小中学校と高等学校の区別なく実施していくこととなります。

●町民アンケート調査の実施

予定しているアンケート調査は平成30年5月に実施した質問項目と同様です。

「目標と情報の共有」に重点を置いた2年間の取組の成果を検証し、今後の課題を明らかにするため、多くの皆様の協力をお願いします。

●応援メッセージ●
今日、嬉しいことがありました。
街の方からグリーンパークに向かって、
車を運転していました。
墓地のところに丁字路があり、短い横断
歩道があります。
ずいぶん遠くから、ランドセルを背負っ
た二人の女の子が立ち止まって、私を通過
するのを待っているのが見えます。待つて
いる間に大人の人が一人渡って行きまし
た。
横断歩道まで来て停車すると、一人の子
がこちらに向かって、「お先にどうぞ」と
手で合図をします。
こちらも負けずに、「お先にどうぞ」と
うながします。それを見て二人は横断歩道
を渡りました。
お蔭で、何とか大人のメンツを保つこと
ができましたが、今度はこちらを向いて二
コニコ顔で手を振ります。
こっちも手を振り返しましたが、「立派
なことをするなあ」という気持ちと、「君
たちには参った！」という気持ちが混ざっ
ていました。

（町内 六〇代 男性）